

商工部新産業・技術振興課
(福岡水素エネルギー戦略会議事務局)
内線：3736, 3737
直通：643-3448
担当：水素班 田代、杉本

福岡水素エネルギー戦略会議が我が国で初の受賞！

「水素経済のための国際パートナーシップ（IPHE）」優秀リーダーシップ賞

- 福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議 ※₁では、①九州大学を中核とした世界最先端の研究開発、②「福岡水素タウン」 ※₂や「水素ハイウェイ」 ※₃、「北九州水素タウン」 ※₄の先導的な社会実証、③全国唯一の水素人材育成、④水素エネルギー新産業の育成・集積、⑤世界最先端の水素情報拠点の構築を柱とした「福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）」を展開しています。
- このたび、福岡水素エネルギー戦略会議は、水素・燃料電池の国際協力枠組みである「水素経済のための国際パートナーシップ（IPHE：International Partnership for the Hydrogen Economy）」から、「優秀リーダーシップ賞」として選定されました。同賞は、世界の水素経済の推進に著しい貢献のあった個人、団体等を表彰するものです。水素エネルギー社会の実現を目指し、世界最先端の取り組みを総合的に進める「福岡水素戦略」の取り組みが高く評価されました。同賞では我が国初の受賞であり、団体としての受賞は世界で初めてとなります。 ※₅
- 水素経済のための国際パートナーシップ（IPHE）とは、平成15年に米国エネルギー省が提唱した、水素・燃料電池に係る技術開発、基準・標準化、情報交換等を促進するための国際協力枠組みで、現在、我が国を含む17ヶ国・機関 ※₆が参加しています。
- 授賞式は、5月17日に開催される国際会議「World Hydrogen Energy Conference 2010」（ドイツNRW州・エッセン）で行われます。当日は、福岡水素エネルギー戦略会議の幹事を務める九州大学水素エネルギー国際研究センター長の佐々木一成教授が出席します。
- 今回の受賞を契機に、「福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）」を更に充実させ、世界を先導する水素の拠点を福岡に構築して参ります。

※ 1 : 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。

2010年4月末現在、585企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木啓介（くろき けいすけ）代表取締役副社長

※ 2 : 福岡水素タウン

水素家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」。

新日本石油株式会社、西部ガスエネルギー株式会社と共同で、糸島市の南風台（みなかぜだい）団地・美咲が丘（みさきがおか）団地の150世帯を対象にLPガスを燃料とする水素家庭用燃料電池を設置。約7年間にわたり、省エネ効果などを検証する。

水素家庭用燃料電池を100世帯超の規模で集中設置するのは世界初の取り組み。

※ 3 : 水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される水素燃料電池電気自動車・水素エンジンの実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション（福岡市西区元岡，九州大学伊都キャンパス内）」「北九州水素ステーション（北九州市八幡東区東田）」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

※ 4 : 北九州水素タウン

北九州水素ステーションを核に、副生水素を本格利用する世界初の次世代型水素エネルギーモデル都市。

- ・都市ガスの代替燃料として、副生水素を地域にパイプライン供給。
- ・純水素型の定置用燃料電池を一般住宅等で利用する他、FCフォークリフト、FC自転車などの小型移動体を実証。

水素供給・利用技術研究組合が実施する経済産業省補助事業「水素利用社会システム構築実証事業」と連携

※ 5 : IPHEアワード国内受賞歴について

優秀リーダーシップ賞は、福岡水素エネルギー戦略会議が国内で初の受賞。技術功績賞は、2006年のJHFCプロジェクト、2007年の山梨大学渡辺政廣教授に引き続き、今年、産総研の秋葉悦男教授（経済産業省水素貯蔵材料先端基盤研究事業プロジェクトリーダー）が受賞。

| 年 | 種別 | 受賞者 | |
|----------|-------------|--------------------------------|-----------------------|
| 2006 | 優秀リーダーシップ賞 | J. Bentham | Royal Dutch Shell 副社長 |
| | | Donald L. Paul | Chevron 副社長 |
| | 技術功績賞 | HYFLEET:CUTE | EU |
| | | Project Hydrosol | EU |
| | JHFC プロジェクト | 日本、(財)日本自動車研究所・(財)エンジニアリング振興協会 | |
| 2007 | 功労賞 | ゲイル・ホルデ | アイスランド首相 |
| | 優秀リーダーシップ賞 | 許 倬 | 中国科学技術部 |
| | 技術功績賞 | 水素ハイウェイ | カナダ、ブリティッシュコロンビア州 |
| 渡辺 政廣 教授 | | 日本、山梨大学 | |

※ 6 : 17ヶ国機関（IPHE参加国・機関）

日本、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、アイスランド、インド、イタリア、ノルウェー、韓国、ロシア、英国、米国、ニュージーランド、欧州委員会

（平成22年4月末現在）